

国民生活センター相模原事務所研修施設の活用に関する懇談会（第1回）での 主な意見

<意見>

<今後の検討の進め方>

1. 今後の研修事業の在り方を踏まえ検討すべき。

- ・研修施設で提供するサービス、実現したい内容等の将来像を設定すべき。
- ・研修施設での研修と、地方での研修を分類して示してほしい。
- ・地方で相談員を研修することは困難。
- ・国民生活センターが集合研修を実施することが望ましい。
- ・稼働率先行の議論ではなく、研修の中身について議論すべき。
- ・民生委員や社会福祉士を対象とした研修を実施すべき。

1. 研修の拡充が求められる施策や受講者のニーズを踏まえた

- (1) 研修施設での研修
- (2) 地方に出向いて実施する研修
- (3) Dラーニング^(注)

の役割分担等、今後の研修事業の全体像を基に検討。

2. 魅力的な研修環境を提供すべき。

- ・以前は、研修後に他の相談員と意見交換ができる等、充実していた。
- ・研修と同時に消費者問題の全てがわかる研修施設になれば良いと思う。
- ・以前研修施設を利用したが、食事が不評だった。
- ・図書資料館、食堂等の研修環境の充実の検討も行うべき。
- ・以前のように大学生向け研修での外部貸し出しも可能ではないか。

2. 稼働率の向上に資するような研修環境の整備について、具体的な案を基に検討。

3. 研修に関するデータ等を踏まえた議論が必要。

- ・問題点として指摘されている稼働率の向上はクリアすべき課題である。
- ・過去の研修に係る募集人員、受講者数、定員充足率のデータが必要。
- ・稼働率の計算方法、外部貸し出しの仕組みの把握が必要。

3. 議論に必要な

- (1) 稼働率の計算方法
- (2) 過去の研修の定員充足率
- (3) 外部貸し出しの実績

などのデータを踏まえ、検討。

(注) Dラーニング(distance learning)とは、遠隔研修のことを指し、国民生活センターが実施する研修の一部を収録してコンテンツに編集し、地方公共団体に一定期間配信することにより、オンデマンドでの受講を可能とする研修のこと。